

◇令和2年度の成果◇



緊急事態宣言下でスタートした令和2年度。初めての状況にみんなでアタフタした4月。自立支援協議会も、今年度第1回総会は書面決議、4・5月は部会活動を中止、と異例のスタートとなりました。感染症対策を講じながら、6月から何とか部会活動を開始したものの、今まで通りにはいかない状況が続き、企画しても中止になる取り組みもありました。そんな中、ウェブを活用した研修会や会議、総会開催等、こんな時代だから始められた取り組みもありました。令和2年度も振り返ってみれば、部会、委員会等の活動回数は約150回！皆さまのご協力に感謝するばかりです。

具体的な成果も出ているこの1年。いくつか今年度の成果を紹介します！

◇「重心・医ケア部会」設置、そして始動◇

昨年度、医療的ケアが必要なお子さん等の支援の充実に向けた協議の場の設置に向けて、そだちネットワーク部会に「医療的ケア児等課題検討チーム」を置き検討を行いました。その結果、医療的ケア児の現状と支援体制の課題を把握し、課題の整理と解決に向けた活動を、地域の関係機関と共にスピード感をもって取り組んでいくため、部会を設置することになりました。今年度新たに「重心・医ケア部会」が設置され、課題の協議・活動が始まりました。

◇「一人暮らし体験の場」事業化へ◇

地域生活支援拠点等事業検討会では、地域生活支援拠点等の5つの柱(①相談支援、②緊急時の受入れ・対応、③体験の機会・場、④専門性、⑤地域の体制づくり)の内、「体験の機会・場」の確保について今年度重点的に検討を行ってきました。ニーズ調査を実施し、気軽に一人暮らしの体験ができる場の必要性が見えてきました。その整備に取り組み、来年度、アパートの一室を利用した「一人暮らし体験事業」を開始することとなりました。

◇第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画できました◇

令和3年度からスタートする第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画について、市町村課題検討WGを中心に議論を重ね作成しました。計画を推進するために、各部会との連動について、部会長会議にて協議も行いました。自立支援協議会で計画の進捗管理を行い、「その人の意思に基づき、暮らしたい場所で暮らしたい人と、その人らしく、生き活きと、安心して暮らせる地域づくりを進めていきたい」と思います。

今年度はYouTubeデビューしました。そのおかげで、そだちネットワーク部会が主催した「発達障がい支援フォーラム」は、日本全国から1,000名を超える方にご参加頂く事ができました。小さな北信圏域から全国に発信することができる。今後もYouTube等活用し、情報発信を続けていきたいと思ひます。

今まで通りにはいかないこんな状況下でも活動を止めずに進められた、顔と顔をあわせてつながることの大切さを感じられた、それが何よりの成果だったように思われる1年でした。

自立支援協議会 各部会の活動、研修会のお知らせ等は、随時ホームページで紹介しております。ホームページもぜひご覧ください！

「北信 自立」または <http://www.jiritusien.jp/> で検索を！

北信 自立

検索

QRコードからも！



北信地域障がい福祉自立支援協議会だより

令和2年度号



【編集・発行】北信地域障がい福祉自立支援協議会
 【事務局】北信圏域障害者総合相談支援センター
 【住所】中野市大字笠原 765-1
 【TEL/FAX】0269-23-3525/0269-23-3521
 【Email】hokushin3525@nkn.janis.or.jp

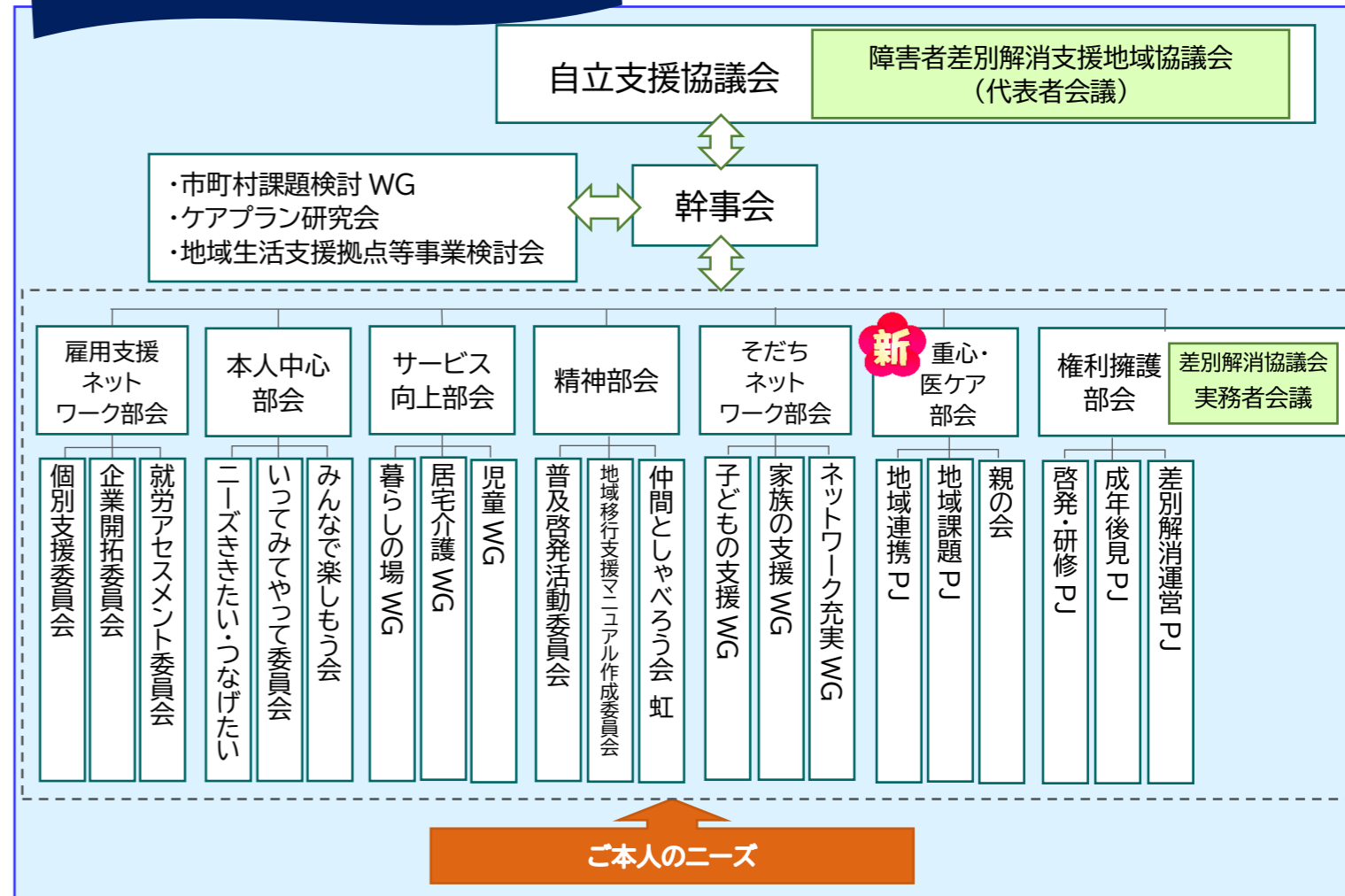
(2021年3月31日発行)

自立支援協議会とは??

関係機関(福祉・医療・保健・教育・労働等)が相互に連携を図り、情報や課題を共有し、地域の実情に応じた障がい者等への支援体制の充実のために協議を行う組織です。

北信圏域ではH18年度に、北信圏域6市町村によって設置されました。現在は7つの専門部会を設置し、北信圏域に暮らす障がいのある方々が地域で豊かに暮らし続けられる様、日々地域の課題の検討や、様々な活動を行っています。

令和2年度組織図



雇用支援ネットワーク部会

☆目的☆

障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指し、働きやすい地域の体制創りの推進を目的とする。

☆成果☆

今年度、圏域内唯一の就労移行支援事業所が閉鎖となり、この地域の就労アセスメントの実施体制が大きな課題となりました。部会内に就労アセスメント委員会を設け、圏域としてどのように取り組んでいくか協議を継続してきました。その結果、“みなし”ではあります、就労アセスメントが実施できる体制が整いました！



精神部会

☆目的☆

精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

☆成果☆

昨年度台風災害の影響で実施できなかった「ピアサポーターに関する学習会」を今年度部会内で実施し、基本のキを教えて頂きました。来年度以降、ピアサポーター養成に関する学習会もしたいと考えております。この圏域でのピアサポーター養成にむけた第1歩を踏み出すことができました！



◇専門部会をちょっとご紹介◇

コロナ禍で今まで通いにはいかなかったR2年度。そんな中で試行錯誤しながら活動を進めてきた各部会の成果を紹介します！



本人中心部会

☆目的☆

障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったより良いサービスが提供できる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活動できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。

☆成果☆

毎年テーマを決めてご本人の声を直接聴き、そこから取組みにつなげていく活動を継続しています。しかし今年度は対面での聴き取りを断念。しかし、アンケート用紙に記入して頂く形で実施。ご本人の声を聴くことを何より大切にしてきた部会。この状況下でも工夫して実施できたことが何よりの成果となりました！



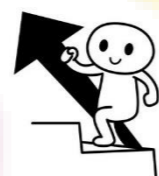
新 重心・医ケア向上部会

☆目的☆

北信圏域に住む医療的ケアが必要な障がい児等とその家族が抱える実態や支援体制の現状と課題を把握し、支援を行う関係機関が連携してその課題解決に取り組むことにより、医療的ケアが必要な障がい児等が地域で安心して暮らしていくことができる体制を構築する。

☆成果☆

今年度新設された部会ですが、地域の課題は山盛り。その課題を話し合うために関係機関の方々に集まって頂きました。まずは顔と顔がつながる関係づくりができたこと、そして課題の解決に向けて動き始められたことが成果となりました！



そだちネットワーク部会

☆目的☆

様々な障がいや困り感を持っている子ども及び家族の気持ちに寄り添いながら、子どもや家族を支える地域の関係機関の連携体制を構築していく。

☆成果☆

「発達障がい支援フォーラム」をYouTube 配信により開催。全国から約1,600人の方にご視聴いただく事ができました！

テーマ「発達障がい児が安心して大人になっていくために
～私たちができること～」
講演「思春期に大切にしたいこと
～自立？自律？」

講師 本田秀夫氏
シンポジウム「今までとこれからを語る」
シンポジスト 本田氏 高山氏 福岡氏



サービス向上部会

☆目的☆

地域の支援者の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。また、横のつながりを大切にし、情報共有の中から地域の課題の把握・提案を行っていく。

☆成果☆

集まる形での研修会開催が難しい状況のもと、YouTube 配信による研修会を初めて実施しました。

テーマ「つながる」
講師 福岡寿氏



権利擁護部会

☆目的☆

障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を強化していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指していく。

☆成果☆

部会内研修「災害時の避難所における権利擁護」を実施。さらに部会員それぞれが所属先で伝達研修を実施。内容は、「災害時」「避難所」という平時とは違う環境下での権利擁護について考え、意見交換するものです。伝達研修も含め、たくさんの意見や提案が出されました。集まった意見や提案は市町村課題検討WGで共有し、防災担当部署と共有して頂けることになりました！